

(事例18) 34歳男性、電子部品製造、血糖コントロール不良のため交替勤務禁止

類型	症候	疾患
1、3	1. 高血糖	9. 糖尿病

きっかけ	<input checked="" type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input type="checkbox"/> その他の機会
1. 対象者のプロフィール 1) 年齢、既往歴 34歳 男性 2) 業種、作業内容 電子部品製造 (クリーンルーム内、三交代)		
2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 糖尿病		
3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 保留 4 月中に医療機関を受診し、高血糖その他について指導や治療を受けること。結果を踏まえ就業区分を決定します。		
4. 事例の詳細 (背景、経緯、特に考慮した事情など) 健診にて血糖値 252mg/dl のため面談、受診勧奨。その後受診し治療開始、食事療法と運動療法もあり体重減少、コントロールも大幅改善したため、フォローアップ面談で通常勤務可とした。		
5. 就業制限・配慮の主な目的 (複数回答可) ①業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため ③健康管理を促進するため (受診、治療を強く進めるため)		
6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えてください 交代勤務禁止は収入面からも本人の生活設計への影響が大きいという現実があり、少なくとも改善が期待できる場合にはやや緩めの基準で制限を解除することが多い。		